

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和7年12月検出分 検体採取 令和7年11月及び12月)

令和8年1月日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体75件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

### ○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63（※1）、コロナOC43（※2）

### ○検査対象（細菌）

百日咳菌（※3）、*Bordetella holmesii*（※3）、*B. parapertussis*（※1）（※3）、マイコプラズマ（※1）

※1 5月21日搬入検体分より実施。

※2 10月1日搬入検体分より実施。

※3 12月以降の搬入検体分については試験休止中。

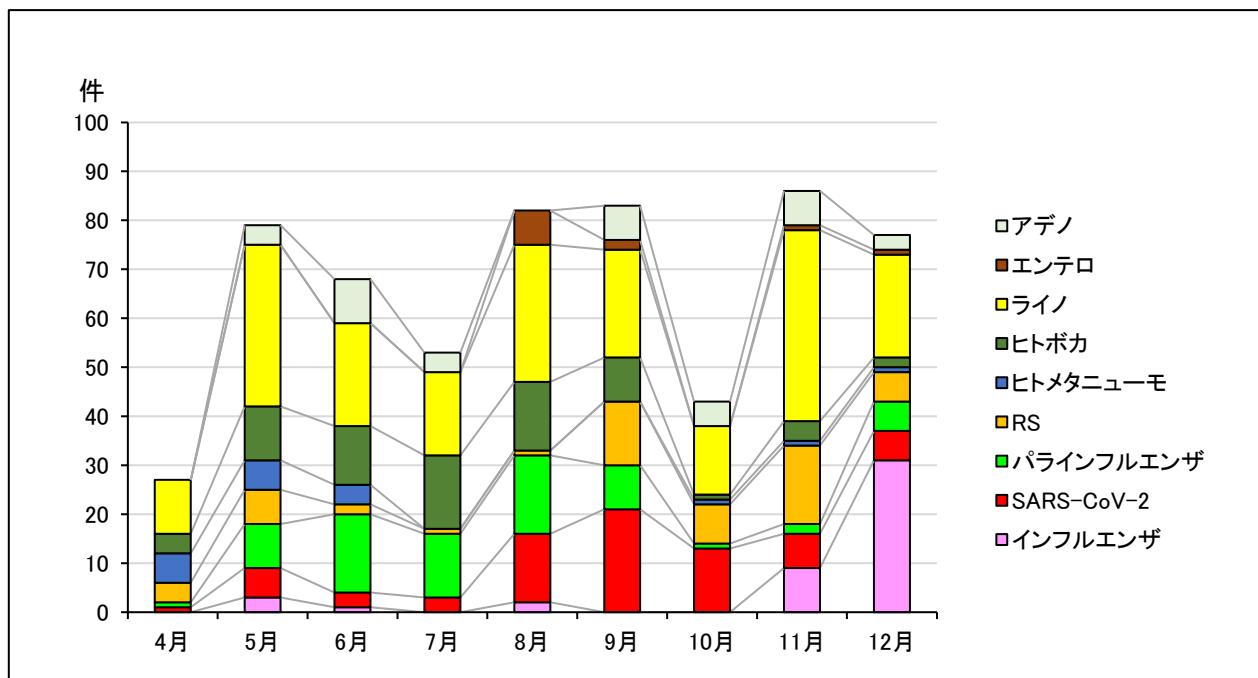
### ○検出結果

75件中67検体（89%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：21件、ボカ：2件、ヒトメタニューモ：1件、RS-A型：1件、RS-B型：2件、SARS-CoV-2：6件、パラインフルエンザ1：2件、パラインフルエンザ2：2件、パラインフルエンザ4：2件、アデノ：2件、エンテロ：1件、インフルエンザA型：31件、コロナNL63：4件、マイコプラズマ：3件であった。4月から12月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和7年4月～12月検出分）

年齢	病原体年齢別検出数（12月検出数/累積）												合計			
	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤			
標本数	25	233	5	36	2	12	11	49	11	90	14	110	7	50	75	580
ライノ	12	141	2	15	1	6	4	14		18	1	10	1	2	21	206
ボカ	2	67		1				1				2		1	2	72
ヒトメタニューモ	1	11								2		6			1	19
RS-A	1	4								1		2			1	7
RS-B		16		2				1	2	4		6		6	2	35
SARS-CoV-2		10		1		1		5	1	15	4	27	1	15	6	74
パラインフルエンザ1		1							1	1	1	1			2	3
パラインフルエンザ2	1	7	1	3								3			2	13
パラインフルエンザ3		15								6		6		5		32
パラインフルエンザ4	2	21		1						1		2		1	2	26
アデノ	2	22		2				3							2	27
エンテロ	1	11													1	11
インフルエンザA型	6	10	3	3	1	2	4	6	6	9	8	8	3	3	31	41
インフルエンザB型		1				2		1		1						5
百日咳				2								1				3
コロナNL63	4	6										1			4	7
コロナOC43																
マイコプラズマ	2	9		1		1	1	5		3		1		3	20	
検出せず	1	19		10		2	3	19	1	31	1	38	2	17	8	136

図1. 月別主要ウイルス検出状況（令和7年4月～12月検出分）



アデノウイルスについて、前回の報告で解析中だったものも含め4件の解析を行ったところ、3件がC種2型、1件がF種41型であった。アデノウイルスC種2型は急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。F種41型は感染性胃腸炎の原因となるウイルスであり、当該患者は胃腸炎症状を有していたが、鼻汁からF種41型が検出された報告は見当たらず、因果関係は不明である。

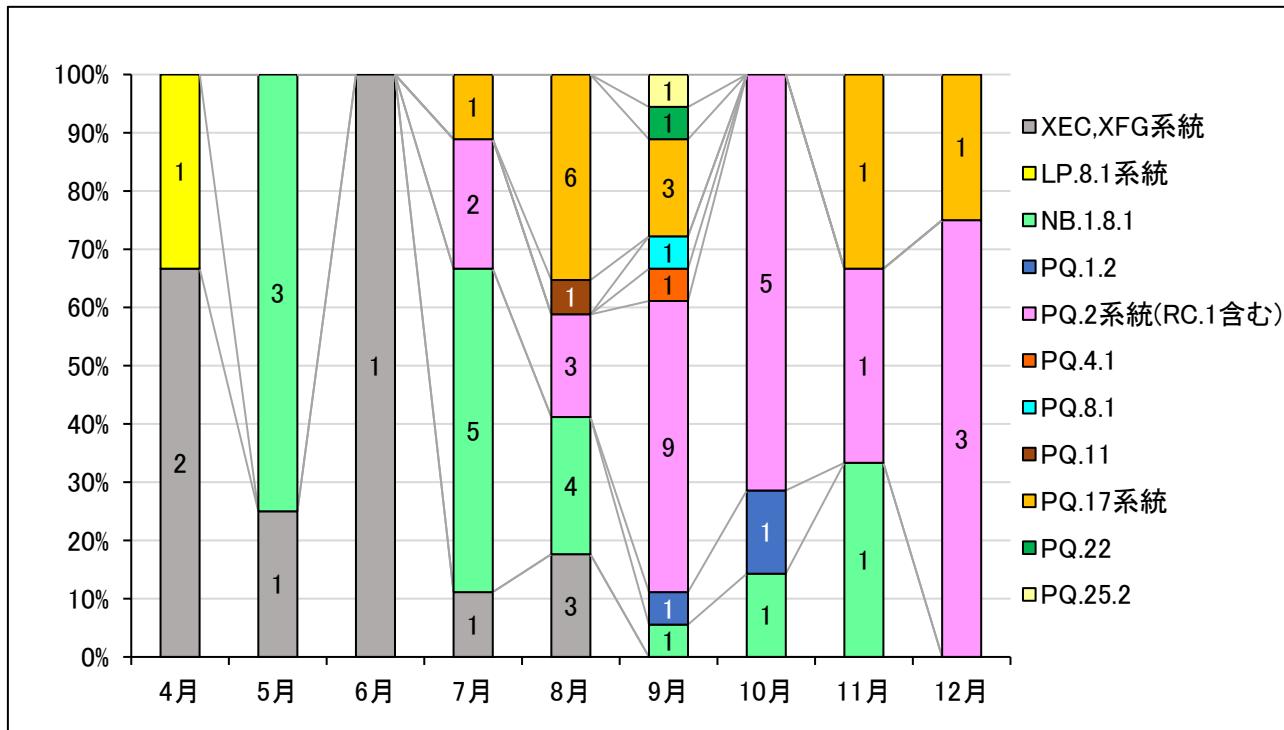
インフルエンザは検出されたA型31件全てがH3型であった。

SARS-CoV-2の系統は表2及び図2に示すとおり、NB.1.8.1が1件、RC.1が4件、PQ.17が1件であった。今回初めて検出されたRC.1は、PQ.2.8.1から変異した株である。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、NB.1.8.1系統と、NB.1.8.1系統の下位系統が依然大多数を占めている。

表2. SARS-CoV-2ゲノム解析結果（令和7年12月検出分）

検体採取年月日	年齢	型別
R7.11.25	50代	NB.1.8.1
R7.11.30	70代	RC.1
R7.12.3	70代	PQ.17
R7.12.8	70代	RC.1
R7.12.8	80歳以上	RC.1
R7.12.8	60代	RC.1

図2. 月別SARS-CoV-2ゲノム解析結果（令和7年4月～12月検出分）



## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の1件について検査を行ったところ、感染性胃腸炎の原因となりうるウイルスは検出されなかった。

## 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

前回の報告で解析中だったものも含め、臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の16件について検査を行ったところ、A群溶血性レンサ球菌が11件(T型別4型:6件、T型別不明:5件)分離された。4型は咽頭炎で多くみられる型である。

## 4 流行性角結膜炎

前回の報告で解析中だったものも含め、臨床診断名が流行性角結膜炎の2件について検査を行ったところ、2件ともアデノウイルスD種54型が検出された。D種54型は流行性角結膜炎の原因ウイルスである。

## 5 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の3件について検査を行ったところ、B型が3件検出された。